

アメリカ・テキサスから 藍谷氏のコメント

が届きました、

内藤さんに期待して投票した人も 裏切られたと失望しているに違いありません。

率直に言って、ここまで酷い政治は見たことがありません。

史上最強ではないでしょうか。

内藤さんご本人も同じ気持ちかもしれません。こんなはずではなかったと。

本人に少しでも善意の心が残っているなら、良心の呵責にさいなまれているに違いありません。リコールを成立させて、楽にしてあげることが徳島市民の役目であり 現市長を誕生させたことへの責任を取る事でもあります。

リコールの成立こそが、徳島市にとっても、徳島市民にとっても、現市長にとっても、最善の幕引きになると確信しています。

リコールの成立を心から切望しております。

アメリカ・テキサスから 藍谷 鋼一郎

藍谷 鋼一郎、博士(人間環境学)、テキサス A&M 大学・准教授、九州大学・客員教授、建築家。1968 年 徳島県生。 徳島市立高校 九州大学卒、バージニア工科大学大学院修了。九州大学大学院人間環境学府にて博士(人間環境学)取得。アメリカ最大手組織設計事務所 SOM にて、欧米を中心に中東やアジア諸国での建築設計、都市計画に従事する。2018 年 5 月著書「アーバン・カタリスト」で新町川の再生を紹介、県都の顔づくり・そごう後を考える(2019 年 10 月) 徳島市の都市再生研究(2020 年 5 月) など本市に関係の深く世界で活躍中の建築家。